

## 別表2

対象となる感染症とは、平成6年10月12日総務庁告示第75号に定められた分類項目中下記のものとし、分類項目の内容については厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要ICD-10(2003年版)準拠」によるものとします。

感 染 症 名（ 分 類 項 目 ）	基本分類コード
コレラ	A00
腸チフス	A01.0
パラチフスA	A01.1
細菌性赤痢	A03
腸管出血性大腸菌感染症	A04.3
ペスト	A20
ジフテリア	A36
急性灰白髄炎<ポリオ>	A80
ラッサ熱	A96.2
クリミヤ・コンゴ<Crimean-Congo>出血熱	A98.0
マールブルグ<Marburg>ウイルス病	A98.3
エボラ<Ebola>ウイルス病	A98.4
痘瘡	B03
重症急性呼吸器症候群[SARS]（ただし、病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限ります。）	U04

**ご注意** 次のような場合には、保険金または給付金をお支払いできないことがありますので、お申し込みに際し、特にご注意下さい。

#### ●死亡保険金・高度障害保険金について

- (1)被保険者が加入後1年以内に自殺したとき
- (2)保険金受取人が故意に被保険者を死亡させたとき（または高度障害状態にさせたとき）
- (3)被保険者が故意により高度障害状態となったとき
- (4)被保険者が戦争その他の変乱によって死亡したとき（または高度障害状態となったとき）

#### ●災害保険金・障害給付金・入院給付金・災害高度障害保険金について

- (1)保険契約者または被保険者の故意または重大な過失によるとき
- (2)災害保険金の受取人、障害給付金の受取人、入院給付金の受取人または災害高度障害保険金の受取人の故意または重大な過失によるとき。

#### ○加入（責任開始）日前の疾病や不慮の事故を原因とするとき

##### ○告知義務違反

保険契約者または被保険者から告知していただいた内容が事実と相違し、ご契約の全部またはその被保険者の部分が告知義務違反により解除となったとき。

##### ○重大事由による解除

保険契約者、被保険者または保険金受取人が保険金等を詐取する目的で事故招致をしたときや暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められたときなど、重大事由に該当し、保険契約の全部または一部が解除となったとき。

##### ○詐欺による取消し

保険契約者または被保険者による詐欺の行為を原因として、ご契約の全部またはその被保険者の部分が取消しとなったとき。

##### ○不法取得目的による無効

保険契約者または被保険者に保険金等の不法取得目的があり、ご契約の全部またはその被保険者の部分が無効となったとき。

##### ○保険契約の失効

保険契約者から保険料のお払込がなく保険契約が失効し、失効日以後に支払事由が生じたとき。

#### 保険金受取人の変更について

すでに当制度にご加入の方で、死亡保険金受取人を変更される場合は、「保険金受取人変更通知書」で別途お手続きください。なお、「加入申込書」で死亡保険金受取人の変更をお手続きいただくことも可能ですが、その際の死亡保険金受取人の変更日は、加入申込書記載の「加入(変更)日」となります。すべての被保険者について、遺言により死亡保険金の受取人を変更することはできません。

#### その他

被保険者の保険契約者または保険金受取人に対する信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由がある場合等において、被保険者は保険契約者に対し、その被保険者の部分の解除を請求することができます。（保険法第58条、第87条）

## お問い合わせ・申込 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

東京都中央区日本橋小伝馬町7-16(ニッケイビル) 電話03-3667-2271(代)

この制度は、当工業会が生命保険会社と締結した災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険契約に基づいて運営されています。

下記の引受保険会社は、各ご加入者の加入金額のうち、それぞれの引受割合(平成28年4月1日現在)による保険契約上の責任を負います。なお、引受保険会社および引受割合は変更することがあります。

引受保険会社	(引受割合)
<b>ジブラルタ生命保険株式会社</b>	75.19%(事務幹事会社)
<b>日本生命保険相互会社</b>	16.20%
<b>三井生命保険株式会社</b>	8.61%

また、引受保険会社の実績等により給付金支払の引受割合が上記の引受割合と異なる場合があります。

引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご加入時にお約束した保険金額、年金額、給付金額等が引|受割合の範囲において削減されることがあります。なお、生命保険契約者保護機構の会員である生命保険会社が経営破綻に陥った場合、生命保険契約者保護機構により保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご加入時の保険金額、年金額、給付金額等が削減されることがあります。詳細については、生命保険契約者保護機構までお問い合わせください。

Gi-団-2016-057(2016.4.12)

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

JaGra

平成28年度版

# グループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

## ご加入・増額のおすすめ

■スケールメリットを活かした割安な掛金

■お申込手続きが簡単!

■掛金には税法上の取扱いがあります

■剰余金は配当金として還元!

### ご意向確認のお願い

この保険は以下の保障を必要とする方に適した保険期間1年(更新により一定年齢(期間)まで継続可能)の生命保険です。

■死亡・高度障害保障

■不慮の事故による死亡・高度障害・身体障害・入院保障

\*保障内容の詳細はこの加入勧奨資料(パンフレット)に記載していますので、ご確認ください。

ご加入にあたっては、この保険の契約内容(保障内容・給付金額等)がご自身のご意向(ニーズ)に合致しているか、この加入勧奨資料(パンフレット)で必ずご確認ください。

また、この加入勧奨資料(パンフレット)はお申込みいただきました後も大切に保管ください。

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

〈この資料は加入勧奨資料です〉

# 別表 1 (給付割合表)

「高度障害状態」とは、下表第1級のいずれかに該当する身体障害をいいます。

等級	身体障害	災害に対する給付割合	身体図
第1級	1. 両眼の視力を全く永久に失ったもの 2. 言語またはそしゃくの機能を全く永久に失ったもの 3. 中枢神経系・精神または胸腹部臓器に著しい障害を残し、終身常に介護を要するもの 4. 両上肢とも、手関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの 5. 両下肢とも、足関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの 6. 1上肢を手関節以上で失い、かつ、1下肢を足関節以上で失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの 7. 1上肢の用を全く永久に失い、かつ、1下肢を足関節以上で失ったもの	10割	
第2級	8. 1上肢および1下肢の用を全く永久に失ったもの 9. 10手指を失ったかまたはその用を全く永久に失ったもの 10. 1肢に第3級の13から15までのいずれの身体障害を生じ、かつ、他の1肢に第3級の13から15まで、または第4級の21から25までのいずれかの身体障害を生じたもの 11. 両耳の聴力を全く永久に失ったもの	7割	
第3級	12. 1眼の視力を全く永久に失ったもの 13. 1上肢を手関節以上で失ったかまたは1上肢の用もしくは1上肢の3大関節中の2関節の用を全く永久に失ったもの 14. 1下肢を足関節以上で失ったかまたは1下肢の用もしくは1下肢の3大関節中の2関節の用を全く永久に失ったもの 15. 1手の5手指を失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)を含んで4手指を失ったもの 16. 10足指を失ったもの 17. 脊髄に著しい奇形または著しい運動障害を永久に残すもの	5割	
第4級	18. 両眼の視力にそれぞれ著しい障害を永久に残すもの 19. 言語またはそしゃくの機能に著しい障害を永久に残すもの 20. 中枢神経系・精神または胸腹部臓器に著しい障害を残し、終身常に日常生活動作が著しく制限されるもの 21. 1上肢の3大関節中の1関節の用を全く永久に失ったもの 22. 1下肢の3大関節中の1関節の用を全く永久に失ったもの 23. 1下肢が永久に5センチ以上短縮したもの 24. 1手の第1指(母指)および第2指(示指)を失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)のうち少なくとも1手指を含んで3手指以上を失ったもの 25. 1手の5手指の用を全く永久に失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)を含んで3手指以上の用を全く永久に失ったもの 26. 10足指の用を全く永久に失ったもの 27. 1足の5足指を失ったもの	3割	
第5級	28. 1上肢の3大関節中の2関節の機能に著しい障害を永久に残すもの 29. 1下肢の3大関節中の2関節の機能に著しい障害を永久に残すもの 30. 1手の第1指(母指)もしくは第2指(示指)を失ったか、第1指(母指)もしくは第2指(示指)を含んで2手指を失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)以外の3手指を失ったもの 31. 1手の第1指(母指)および第2指(示指)の用を全く永久に失ったもの 32. 1足の5足指の用を全く永久に失ったもの 33. 両耳の聴力に著しい障害を永久に残すもの 34. 1耳の聴力を全く永久に失ったもの 35. 鼻を欠損し、かつその機能に著しい障害を永久に残すもの 36. 脊柱(頸椎を除く)に運動障害を永久に残すもの	1.5割	
第6級	37. 1上肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を永久に残すもの 38. 1下肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を永久に残すもの 39. 1下肢が永久に3センチ以上に短縮したもの 40. 1手の第1指(母指)もしくは第2指(示指)の用を全く永久に失ったか、第1指(母指)もしくは第2指(示指)を含んで2手足指以上の用を全く永久に失ったかまたは第1指(母指)および第2指(示指)以外の2手指もしくは3手指の用を全く永久に失ったもの 41. 1手の第1指(母指)および第2指(示指)以外の1手指または2手指を失ったもの 42. 1足の第1指(母指)または他の4足指を失ったもの 43. 1足の第1指(母指)を含んで3足以上の用を全く永久に失ったもの	1割	

ご希望に応じた、加入口数をお選び下さい。

ご加入口数		1口	2口	3口	4口	5口	6口	7口	8口
保 険 金 ・ 給 付 金	I 死 亡 保 険 金	100万円	200万円	300万円	400万円	500万円	600万円	700万円	800万円
	II 高 度 障 害 保 険 金								
	III 高度障害保険金＋ 災害高度障害保険金 <small>別表2に記載の感染症により高度障害状態となったとき</small>	150万円	250万円	350万円	450万円	550万円	650万円	750万円	850万円
	IV 死亡保険金＋災害保険金 <small>不慮の事故により死亡したとき、または別表2に記載の 感染症により死亡したとき</small>	200万円	400万円	600万円	800万円	1,000万円	1,200万円	1,400万円	1,600万円
	V 高度障害保険金＋ 災害高度障害保険金＋障害給付金 <small>不慮の事故により別表1の第1級の障害状態になったとき</small>								
	VI 障 害 給 付 金 <small>不慮の事故により別表1の第2級～第6級の障害状態になったとき</small>	5～35万円	10～70万円	15～105万円	20～140万円	25～175万円	30～210万円	35～245万円	40～280万円
	VII 入 院 給 付 金 <small>不慮の事故により5日以上入院したとき、ただし120日を限度</small>	1日につき 750円	1日につき 1,500円	1日につき 2,250円	1日につき 3,000円	1日につき 3,750円	1日につき 4,500円	1日につき 5,250円	1日につき 6,000円

月 額 掛 金	15歳～ 35歳	S55.12.2～ H13.12.1	男性	290円	581円	871円	1,162円	1,452円	1,743円	2,033円	2,324円
			女性	235円	471円	706円	942円	1,177円	1,413円	1,648円	1,884円
	36歳～ 40歳	S50.12.2～ S55.12.1	男性	327円	655円	982円	1,310円	1,637円	1,965円	2,292円	2,620円
			女性	280円	561円	841円	1,122円	1,402円	1,683円	1,963円	2,244円
	41歳～ 45歳	S45.12.2～ S50.12.1	男性	380円	761円	1,141円	1,522円	1,902円	2,283円	2,663円	3,044円
			女性	307円	615円	922円	1,230円	1,537円	1,845円	2,152円	2,460円
	46歳～ 50歳	S40.12.2～ S45.12.1	男性	474円	949円	1,423円	1,898円	2,372円	2,847円	3,321円	3,796円
			女性	359円	719円	1,078円	1,438円	1,797円	2,157円	2,516円	2,876円
	51歳～ 55歳	S35.12.2～ S40.12.1	男性	621円	1,243円	1,864円	2,486円	3,107円	3,729円	4,350円	4,972円
			女性	430円	861円	1,291円	1,722円	2,152円	2,583円	3,013円	3,444円
	56歳～ 60歳	S30.12.2～ S35.12.1	男性	820円	1,641円	2,461円	3,282円	4,102円	4,923円	5,743円	6,564円
			女性	489円	979円	1,468円	1,958円	2,447円	2,937円	3,426円	3,916円
	61歳～ 65歳	S25.12.2～ S30.12.1	男性	1,117円	2,235円	3,352円	4,470円	5,587円	6,705円	7,822円	8,940円
			女性	609円	1,219円	1,828円	2,438円	3,047円	3,657円	4,266円	4,876円
	66歳～ 70歳	S20.12.2～ S25.12.1	男性	1,726円	3,453円	5,179円	6,906円	8,632円	10,359円	12,085円	13,812円
			女性	844円	1,689円	2,533円	3,378円	4,222円	5,067円	5,911円	6,756円

保険年齢	生年月日	性別	月 額 掛 金								
------	------	----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--

●上記掛金には運営事務費が含まれています。 ●この制度は、主契約保険金100万円につき 災害割増特約50万円、災害保障特約50万円を付加した制度です。 ●上記記載の年齢 は平成28年6月1日時点の保険年齢です。保険年齢は1年未満の端数については、6カ月を超えるものは切り上げて1年とし、6カ月以下のものは切り捨てて算出します。  
(例) 50歳＝満49歳6カ月超満50歳6カ月以下

支払事由（概要）

死亡保険金

被保険者が保険期間中に死亡されたとき、死亡保険金を死亡保険金受取人にお支払いします。

高度障害保険金

被保険者が保険期間中に加入日以後に発生・発病した傷害または疾病によって、別表1の第1級に定める身体障害状態のいずれかに該当されたとき、高度障害保険金を高度障害保険金受取人にお支払いします。

災害保険金

被保険者が保険期間中に加入日以後の不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から180日以内に死亡されたとき、または加入日以後に発病した別表2に記載の感染症を直接の原因として死亡されたとき、災害保険金を主契約の死亡保険金受取人にお支払いします。

障害給付金

被保険者が保険期間中に加入日以後の不慮の事故による傷害を直接の原因としてその事故の日から180日以内に別表1に定める身体障害状態のいずれかに該当されたとき、給付割合に応じた障害給付金を主契約の高度障害保険金受取人にお支払いします。

入院給付金

被保険者が保険期間中に加入日以後の不慮の事故による傷害の治療を目的としてその事故の日から180日以内に、5日以上日本における病院または診療所またはこれと同等とみなされる日本国外の医療施設に入院されたとき、入院給付金を主契約の高度障害保険金受取人にお支払いします。入院給付金のお支払いは同一の不慮の事故について120日を限度とします。

災害高度障害保険金

被保険者が保険期間中に、加入日以後の不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から180日以内に、または加入日以後に発病した別表2に記載の感染症を直接の原因として、別表1「給付割合表」に定める高度障害状態のいずれかに該当されたときに、災害高度障害保険金を主契約の高度障害保険金受取人にお支払いします。

支払保険金・給付金

お支払いした保険金・給付金は皆様のお役に立っています。  
過去5年間の支払い実績は下の通りです。

年 度	期 間	死亡・高度障害		特約（障害・入院）	
		件数	保険金額	件数	給付金額
平成26年度	平成26年6月1日～平成27年5月31日	1件	100万円	0件	0万円
平成25年度	平成25年6月1日～平成26年5月31日	3件	900万円	0件	0万円
平成24年度	平成24年6月1日～平成25年5月31日	2件	300万円	2件	2.9万円
平成23年度	平成23年6月1日～平成24年5月31日	0件	0万円	0件	0万円
平成22年度	平成22年6月1日～平成23年5月31日	2件	500万円	1件	2.1万円

配当金について

1年ごとに収支計算を行って剰余金が生じた場合には配当金をお支払いします。この場合、配当金は保険期間満了後、各保険会社の引受割合に応じて、各保険会社の前年度決算配当率および団体の加入状況等の一定の基準に基づきお支払いします。この配当率は保険会社により異なる場合があり、また保険会社の決算の状況により支払われない場合があります。



## 健康で正常に勤務されている方。

## 医師の診査はありません。告知のみでお申込みいただけます。

### 加入資格および条件

- 日本グラフィックサービス工業会に所属する会員及びその従業員で、お申込日現在およびご加入時点で健康で正常に勤務している方。(ただし、役員・従業員数が300名超の会員企業は除きます。)
- 平成28年6月1日現在、満14歳6カ月を超え、満65歳6カ月までの方。  
なお、一旦加入され更新継続される方は、満70歳6カ月まで継続加入できます。
- 過去1年以内に病気やケガで手術を受けたこと、または継続して2週間以上にわたり医師の治療・投薬を受けたことがある方などは、ご加入(増額)いただけない場合がありますので、告知すべき事項がある場合には、所定の告知書をご提出ください。

### 加入日(効力発生日)と保険期間

- 毎月15日までにお申込みのあった分については、翌々月1日が加入日(効力発生日)となります。加入口数の変更についても同様となります。
- 保険期間は平成28年6月1日から平成29年5月31日までの1年間です。以後特にお申出のない限り、自動的に更新して継続します。なお、途中加入者は第1年目の保険期間が加入日から平成29年5月31日までとなり、以降毎年6月1日付で1年間の契約として更新します。  
(注1)なお、災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険契約の更新にあたっては、主たる被保険者の数が所定の被保険者数と加入率(加入資格を有する方のうち、加入者の割合)を満たす必要があります。平成29年度の更新時に主たる被保険者の数が、所定の被保険者数と加入率のいずれかを下回った場合、災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険契約が更新されないことがあります。  
(注2)加入後の口座振替が不能の場合にはさらに次の振替日に2カ月分の口座振替を行ないます。2カ月連続して振替不能の場合には最初に振替不能になった月の翌月1日以降失効となり保障がなくなります。

### 加入口数変更手続

- 毎月15日までに、変更申込書に必要事項を記入の上、(一社)日本グラフィックサービス工業会事務局へ提出してください。

### 脱退手続

- 被保険者が本制度から脱退なさる場合には、すみやかに(一社)日本グラフィックサービス工業会事務局にご連絡ください。  
毎月15日までに、所定の書類によりご提出された分については、翌々月1日付で脱退となります。

### 保険金等の請求

- ご加入者に死亡・障害・入院が発生した場合は、すみやかに(一社)日本グラフィックサービス工業会事務局にご連絡の上、必要書類によって請求手続きを行ってください。
- 保険金・給付金請求時の了知について  
死亡保険金(災害保険金)受取人[高度障害保険金(災害高度障害保険金・障害給付金・入院給付金)受取人]を被保険者の遺族以外[被保険者本人以外]に定めた場合には、「保険金・給付金」の請求に際しては、死亡の場合、被保険者の遺族、高度障害および障害・入院の場合、被保険者本人の了知が必要です。了知は「保険金・給付金請求書」の了知欄への被保険者の遺族[被保険者本人]の署名により行わせていただきます。
- 保険金等の請求の権利は、3年間ご請求がないときは消滅します。

### 加入者名簿の発行

- 加入事業所には加入者名簿を発行します。

### 税法上の取扱い(平成28年4月1日現在)

- ◆税務のお取り扱いに関しましては、将来変更になる場合があります。くわしくは、関与税理士など専門家にご確認下さい。

#### (1)掛金について

- 個人事業主が従業員のために負担した掛金は、全額必要経費に算入できます。(所得税個別通達直審3-7)

#### (2)保険金・給付金について

- 遺族が直接保険金を受取った場合……法定相続人数×500万円まで相続税が非課税です。(相続税法第3条・第12条)
- 保険金を死亡退職金として支給した場合……法定相続人数×500万円まで相続税が非課税です。(同上)
- 保険金を弔慰金として支給した場合……業務上死亡のときは賞与を除く死亡時給与の3年分相当額、業務外死亡のときは賞与を除く死亡時給与の半年分相当額まで非課税です。(相続税基本通達3-20)
- 高度障害保険金・災害高度障害保険金・障害給付金・入院給付金……非課税です。(所得税法施行令第30条、所得税法基本通達9-21、9-23)

### 被保険者への同意確認と個人情報の取り扱い(保険契約者と生命保険会社からのお知らせ)について

- 福利制度等に基づき事業主が保険料を負担し保険金を受取る制度ですが、加入に際しその被保険者の同意が必要となります。当該保険制度の運営にあたり、保険契約者は加入対象者(被保険者)の個人情報(氏名、性別、生年月日、健康状態等)以下、個人情報}を取り扱い、保険契約を締結する生命保険会社(共同取扱会社を含みます。以下同じ。)へ提出いたします。また、保険契約者は、当該保険制度の運営において入手する個人情報を、事務手続きのために使用いたします。生命保険会社は受領した個人情報を、①各種保険契約の引受け・継続・維持管理、保険金・給付金等の支払、②関連会社・提携会社等を含む各種商品・サービスのご案内・提供・ご契約の維持管理、③生命保険会社の業務に関する情報提供・運営管理、商品・サービスの充実、④その他保険に関連・付随する業務のために利用(注)し、また、保険契約者、他の生命保険会社および再保険会社に上記目的の範囲内で提供します。なお、今後、個人情報に変更等が発生した際にも、引き続き保険契約者および生命保険会社においてそれぞれ上記に準じ個人情報が取り扱われます。また、引受保険会社は、今後、変更する場合がありますが、その場合、個人情報は変更後の引受保険会社に提供されます。

(注)保健医療等の機微(センシティブ)情報については、保険業法施行規則により、利用目的が限定されています。

#### 死亡保険金受取人の個人情報の取り扱いについて

- 指定された死亡保険金受取人(以下、受取人)の個人情報については、加入対象者(被保険者)の個人情報と同様に取り扱われますので、お申込みにあたっては、受取人にその旨をご説明いただき、個人情報の取り扱いについての同意を取得して下さい。